

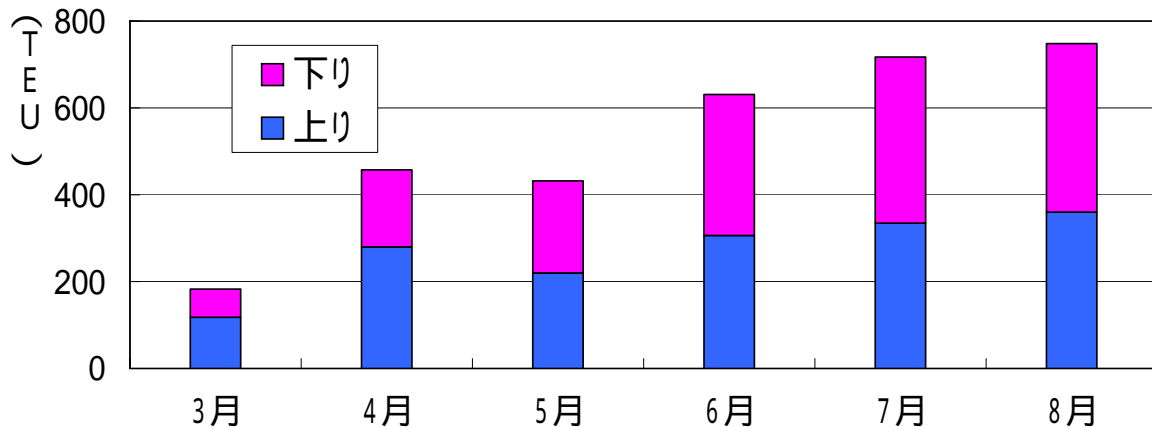
京浜港と東北内陸部を結ぶ海上コンテナ列車について

平成22年9月15日

国土交通省関東地方整備局モデル事業^(注)の一環として、“東京貨物ターミナル駅～盛岡貨物ターミナル駅”間で、本年3月より「海上コンテナ列車」(別紙表1、図1)の運転を開始しましたが、約半年が経過し輸送量が徐々に増加しています。

本年8月、京浜港が「国際コンテナ戦略港湾」として選定されました。これに伴い、東日本エリアにおける利用が一層高まることが想定され、当該列車のご利用の増加に向けた取組みを引続き行ってまいります。

1. 8月までの輸送実績(別紙表2)



(主な輸送品目)

輸入貨物(下り) 家庭用品、電気製品部材、牧草、合板(東南アジア、北米、豪州、欧州からが中心)

輸出貨物(上り) 産業用機械、電気製品、農機具、化学製品(東南アジア向けが中心)

2. これまでの取組み

(1) インランドデポにおける「保税蔵置場」の許可取得(別紙写真1)

当該列車の運転開始に合わせて設置した盛岡(夕)ならびに東京(夕)構内のインランドデポに、保税蔵置場の許可(盛岡(夕)5月1日、東京(夕)6月1日)を取得したことで、鉄道での保税輸送が可能になり、利便性の向上と輸送費用の低減が実現しました。

(2) 「冷凍・冷蔵(リーファー)コンテナ」に対応した電源コンテナの投入(別紙写真2)

10月から上記コンテナを25基投入し、商品力の強化を図ります。

生鮮食品・冷凍食品、精密機械部品等をはじめとした広範な貨物の取扱いが可能となり、今後の輸送量増加が期待されます。

(注) 100%出資子会社である(株)ジェイアール貨物・インターナショナルが受託し、構内施設の設置等に国からの支援を受けております。

(表1)列車の概要

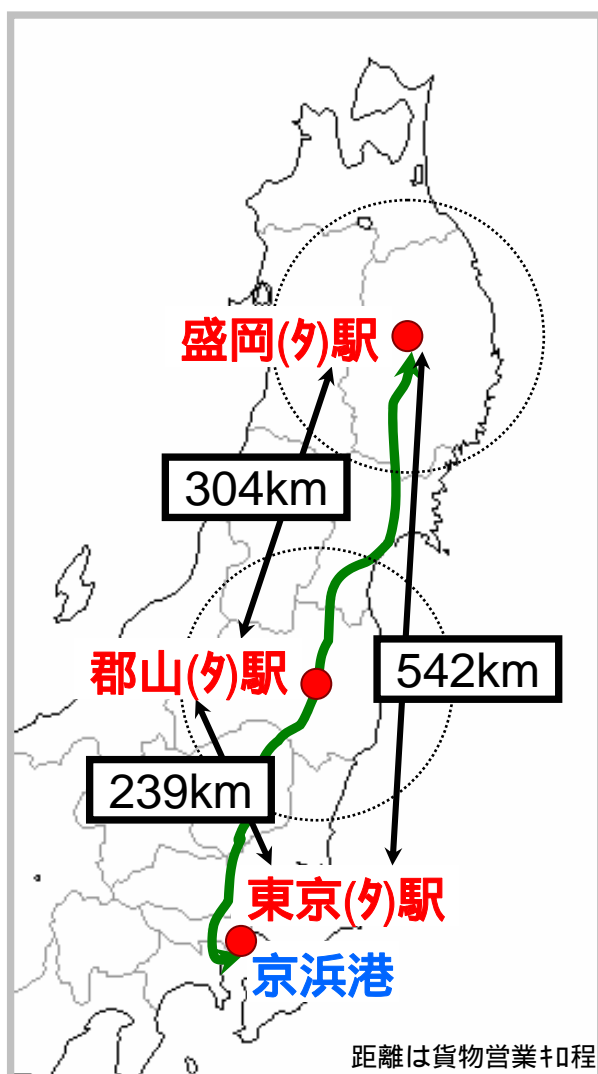
	列車番号	発 駅 (発時刻)	着 駅 (着時刻)	停車駅	記 事
下り	8075	東京(夕) (20:20)	盛岡(夕) 翌日(7:15)	郡山(夕)	20両編成、能力:40TEU (郡山(夕)～盛岡(夕)間15両編成、能力:30TEU)
上り	8074	盛岡(夕) (20:25)	東京(夕) 翌日(6:47)	郡山(夕)	20両編成、能力:40TEU (盛岡(夕)～郡山(夕)間15両編成、能力:30TEU)

(表2)輸送実績

(単位:TEU)

	発 駅	着 駅	3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
下り	東京(夕)	郡山(夕)・盛岡(夕)	65	177	212	325	382	388	1,549
上り	盛岡(夕)・郡山(夕)	東京(夕)	118	280	220	306	335	360	1,619
上下合計			183	457	432	631	717	748	3,168

(図1)京浜港～郡山・盛岡ルート図



(写真1)インランドデポ(保税蔵置場)



(盛岡(夕)駅構内)

(写真2)リーファーコンテナ用電源コンテナ

